

令和7年度第3回 川崎市農業振興計画推進委員会
次期農業振興計画策定部会議事録（摘録）

- 1 開催日時 令和7年11月19日（水）11時00分～12時30分
- 2 開催場所 川崎市都市農業振興センター（高津区梶ヶ谷2-1-7）3階会議室
- 3 出席者
 - 【出席委員】
橋口委員、丸山委員、清水委員

 - 【セレサ川崎農業協同組合】
営農経済担当常務理事（中山）
都市農業振興課長（西野）

 - 【川崎市】
都市農業振興センター所長（齋藤）、
農業振興課長（川口）、農地課長（久延）、農業技術支援センター所長（地引）、
農業振興課農政係長（辻）、農業振興課農政係（上岡）
- 4 議題（公開）
 - (1) 開会、配布資料確認、あいさつ等
 - (2) 審議 「川崎市農業振興計画」の案について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 傍聴者
なし
- 6 会議の内容（摘録）
 - (1) 開会・あいさつ、配布資料確認等
 - 【川崎市：辻係長】
本日は、ご多用のところ、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。
これより「令和7年度第3回川崎市農業振興計画推進委員会 次期農業振興計画策定部会」を開催いたします。
次期農業振興計画策定部会は、次期計画に係る意見交換及び調査等を実施・検討し、計

画素案を策定することを目的としており、令和5年度第2回及び令和6年度第1回川崎市農業振興計画推進委員会において、条例第8条に基づく部会として設置の承認並びに部会委員の指名が行われました。

なお、本部会でございますが、開催に際して委員の半数以上の出席を要することとされており、本日は3名中3名の委員にご出席いただいております、条例第7条第2項に基づき、本部会が開催要件を満たしていることをご報告いたします。

さて、お手元の資料の確認ですが、次第、席次以外の添付資料は、次第に一式を記載しております。不足しているものがありましたら、事務局までお声かけください。

なお、この本部会は、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づきまして、会議の傍聴ならびに議事録による公開を原則としておりますので、ご了承いただきますよう、お願い申し上げます。なお、本日は傍聴者の方はいらっしゃいません。

【川崎市：辻係長】

それでは議題を進めさせていただきます。

次第2以降の議題については、部会長に議長を務めていただき、議事進行をお願いしたく存じます。

それでは、橋口部会長、宜しくお願いいたします。

【橋口部会長】

皆様おはようございます。改めまして引き続きよろしくをお願いいたします。

それでは早速、「川崎市農業振興計画」の案について事務局から説明をお願いします。

(2) 審議 「川崎市農業振興計画」の案について

【川崎市：辻係長】

<事務局説明>

【橋口部会長】

ご説明ありがとうございました。主な変更点を中心にご説明いただきました。

ではまず3～8pまでで委員の方からご意見等ありましたらお願いします。

【JA：西野課長】

7pの地図についてですが、小田急線の新百合丘駅と鶴川駅の間の駅は柿生駅かと思えます。麻生駅になってしまっていますので、ご確認をお願いします。また、左下に黒川東地区と記載がありますが、位置としてはそこではないと思えます。最後に農業振興地域3地区の説明とありますが、3地区4か所といった表記の方が良いのかと思えます。ご確認お願い

致します。

【川崎市：川口課長】

ご指摘ありがとうございます。確認いたします。

【橋口部会長】

他にいかがでしょうか。

特に8 pには農業者が担う様々な役割が掲載されていますので、その辺りもご意見ありましたらお願いします。

【丸山委員】

川崎市にも品評会に出品されている農家が多いのではないかと思います。そうすると、品評会という場で川崎市産農産物の品質や価値を発信している農家の方々も多くいらっしゃるのではないかと思います。そういった点を計画に記載いただくのはいかがでしょうか。

【橋口部会長】

そういったことは5 pの沿革のあたりにその辺りのことが記載されているかと思います。

どちらかと言うと8 pに記載があるのは、市民の方が直接農産物自体を手にするによって知りうること以外のことが掲載されているのかと思います。

【川崎市：川口課長】

今まであまりクローズアップされていなかった農産物の供給以外の情報を掲載したいと思ってこのページを作成しました。

【橋口部会長】

5 pの沿革の②に品評会のことが掲載されています。大きく全体レイアウト等を変更しない範囲で、可能であれば品評会のことについて追記をお願いします。

【橋口部会長】

他にいかがでしょうか。

特になければ、9～13 pの範囲でご意見ありましたらお願いします。

【橋口部会長】

特にご意見がなければ、ページを進めまして、14 p～22 pまででご意見ありましたらお願いします。

【清水委員】

18 p の市街化区域の農地の課題などのところに特定生産緑地の説明がございます。39 p の用語説明の部分に特定生産緑地の説明がございますが、18 p にも語句の説明があったほうがわかりやすいのではないかと思います。

また、21 p の右下にかわさきそだちを使った中学校給食の写真の掲載がございますが、できれば、この給食に使われているかわさきそだちの野菜名を追記いただけるといいなと思います。

【川崎市：辻係長】

例えば、認定農業者に関しては同じページに用語説明を入れております。特定生産緑地に関してもわかりづらいと他からも指摘を受けますので、同じページ内で語句説明をするなどわかりやすくいたします。

中学校給食の写真に関しても、写真の情報提供元から情報をいただきましたら、わかる範囲で野菜名を追記したいと思います。

【橋口部会長】

ほかにかがでしょうか。

特になければ、ページを進めます。23～24 p でご意見いかがでしょうか。

【橋口部会長】

特にご意見ないようですので、ページを進めます。

25～33 p まででいかがでしょうか。

【JA：西野課長】

先ほど、丸山様の方から品評会のお話があったかと思います。元々品評会の目的は生産者の栽培技術の向上が目標でした。近年は品評会の出品点数が減ってきているので、これからのあり方を見直さなければならないと思います。そういった意味では、5 p の沿革に追記するのではなく、28 p の栽培技術の普及・向上のところに追記していただいたほうがいいのではないかと思います。

【川崎市：地引所長】

経験の浅い農業者等への指導の内容に一番関わってくるのかなと思います。ここに追記することを検討します。

【JA：西野課長】

そもそも昔は農家さんが品評会を見に来るのが当たり前でしたが、現在では見に来る農

家さんが少なくなっています。その辺りが課題かと思えます。そういった意味でも経験の浅い農業者等への指導の内容に記載して品評会が農家さんの勉強の場とするのは良いかと思えます。

【清水委員】

28 pに岩ちゃん豆のコラムが大きく掲載されていますが、一度かわさき旬菜ナビで取り上げられた程度のものかと認識しております。ここまで大きく取り上げる必要があるかは疑問を感じます。私ものらぼう菜の推進をしておりますが、なかなか定着が難しいです。

【川崎市：地引所長】

コラムは農業技術支援センターで作成し、このボリューム感になっております。行政のみの視点で作っているところがございますので、いただいた意見を踏まえてコラムの内容を調整します。

【橋口部会長】

ほかにご意見いかがでしょうか。

【丸山委員】

先ほどの話題に関連したご質問となります。PR 課題や認知施策等に関して計画に記載はありますか？

【川崎市：川口課長】

かわさきそだちの認知度が低いことや、情報発信やPRの必要性を記載していますが、具体的な手法等は記載しておりません。12年間の計画となるので、あまり細かく計画に書いてしまうと今後12年間の中でがんじがらめになってしまうためです。

【丸山委員】

県の品評会で毎年賞を取っている農家さんもいらっしゃるがあまり知られていないと感じています。こういったことを広報していくことで色々と良いこともあると思います。この辺りもご検討をお願いします。

【橋口部会長】

32 pの地産地消の推進の箇所に市内農業のPRについて記載があります。この辺りの表現を併せて検討していただければと思います。

【清水委員】

31 p の下段に農家レストランのコラムがありますが、写真は早野マーケットとなっています。農家レストランの写真があった方がいいのかなと思います。

【川崎市：川口課長】

ここは農振地域の PR を目的としているため、早野マーケットの写真を掲載しております。

【橋口部会長】

では続いて34～35 p でご意見いかがですか？

【丸山委員】

成果指標の考え方は「農業経営」、「農地確保」、「市民との交流・理解」の3つの視点によるものかと思います。「農業経営」、「農地確保」の成果指標は今の成果指標で良いと思いますが、「市民との交流・理解」のところの成果指標が援農ボランティア数となっております。これ以外になにかもっとしっくりくる成果指標はないのでしょうか。

【川崎市：地引所長】

農業者数や農地面積が減っているのが川崎市として課題となっております。市民目線でどうやってサポートしていくのかという立場に立って考えるとこの援農ボランティア数に着目した経緯がございます。市民の活動によってこの計画の実現に近づくということを重視しました。

【丸山委員】

援農ボランティアが200人以上になるとどんな良いことがあるのでしょうか。援農ボランティア数が少ないという課題があるのでしょうか？

【川崎市：地引所長】

援農ボランティアの需要がある中で、供給が足りていないということがあります。ボランティアが高齢化してきており、ボランティアができなくなっている方もいらっしゃいます。人材の育成が必要となっております。

【JA：西野課長】

35 p の農環境保全・生活基盤維持管理事業の主なアウトプットに生産緑地の指定という記載がありますが、特定生産緑地への移行と生産緑地の指定と記載したほうが良いと思います。農家さんも生産緑地と特定生産緑地の意味の違いをよく理解できていない方もいらっしゃいます。用語集にもそれぞれ記載がございますし、関連する言葉を2つ並べるのが

良いと思います。

【川崎市：久延課長】

特定生産緑地はそもそも生産緑地であって、生産緑地に上乗せというイメージでございます。主なアウトプットとしては適さないと判断し、特定生産緑地に関してはアウトプットから外した次第でございます。ここに記載することは難しいですが、他のどこかに記載できるようにしていきたいと思います。

【川崎市：辻係長】

30pの具体的な取組に特定生産緑地に関しても記載がございます。アウトプットというよりはこちらの基本施策として取り組んでいくと明示させていただいております。

【橋口部会長】

続いて37～63pの参考資料についていかがでしょうか。
特にご意見ないようですので、ページを進め、別冊に移ります。

【橋口部会長】

65～67pでご意見はございますでしょうか。
特にご意見ないようですので、ページを進めます。

【橋口部会長】

68～70pでご意見はございますでしょうか。

【清水委員】

JAでも計画を策定していると聞いています。それも同じサイクルで改定なのでしょうか。

【JA：西野課長】

JAは5年サイクルでやらせていただいております。
川崎市農業振興計画と同じ方向で策定しております。計画策定の委員に斎藤所長に入らせていただいております。

【清水委員】

それでしたら、その辺りを計画に掲載された方が良いと思います。市民へ川崎市とJAの連携が深まっていることを示すことができると思います。

【川崎市：辻係長】

川崎市とJAの連携については、75pの実施体制の構築についての部分に記載させていただいております。

【橋口部会長】

71～75pでご意見いかがでしょうか。

ちなみにここまで施策を記載して公にすることは、本計画案に沿った新たな補助事業ができる見込みがあるということによろしいでしょうか。

【川崎市：川口課長】

その通りです。現在、調整に入らせていただいております。

【橋口部会長】

最後に全体を通していかがでしょうか。

【JA：中山常務】

76pの図に関してご質問がございます。

①の市街化調整区域の農地が35%、③の市街化区域農地が65%で計100%となります。これが川崎市の農地の割合かと思えます。そうすると②の生産緑地の50%とは市街化区域の50%が生産緑地ということなのでしょうか。

【川崎市：久延課長】

これは川崎市の全体の農地の50%ということです。市街化調整区域と市街化区域の農地を合わせた約500haの農地の内248.9haが生産緑地ということで約50%と示しております。

【橋口部会長】

他にご意見はございますでしょうか。

他にご意見なければ、策定部会の委員の皆様はこの計画案を確認いただいたということにさせていただきます。ありがとうございました。それでは、私の進行は以上とさせていただきます。

【川崎市：辻係長】

本日は、ご審議ありがとうございました。

本日の議事録(案)を作成次第、委員の皆さまにメールでお送り致しますので、内容の御確認をお願いします。

今回御審議いただいた内容を11月25日(月)に開催予定の川崎市議会常任委員会である「総務委員会」に諮ってまいります。

その後パブリックコメントで意見を募集し、3月の川崎市議会常任委員会に諮り、年度末に次期農業振興計画策定となります。

次期計画に係る意見交換及び調査等を実施・検討し、計画素案を策定することを目的として設置された策定部会は本日で終了となります。委員の皆様には多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

以上をもちまして「令和7年度第3回川崎市農業振興計画推進委員会 次期農業振興計画策定部会」を閉会といたします。皆様ありがとうございました。